

長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会
総会次第

平成 25 年 9 月 24 日(火)
10 時 45 分～11 時 30 分
長崎商工会議所 2 階ホール

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議案審議

第 1 号議案 第 1 期事業報告、第 1 期収支決算

第 2 号議案 第 2 期事業計画(案)・収支予算(案)

第 3 号議案 会長の選任

4. 報告事項

役員の選任

<参考資料>

1. 長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会名簿(H25.7.31 現在)
2. 長崎都市経営戦略推進会議 第 3 期事業報告・収支決算
3. 長崎都市経営戦略推進会議 第 4 期事業計画・収支予算

4. 閉会

長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会

第1期 事業報告

【平成24年8月1日～平成25年7月31日】

1. 会員

平成24年10月16日に設立総会を行い、その後も会員の獲得を継続して実施いたしました。多くの企業等の皆様からのご支援を頂戴し、会員数、会費収入は下記のとおりとなりました。

会員数：正会員 51 団体・社 賛助会員 2 社 計 53 団体・社

会費収入：17,419,854 円

2. 助成金

下記の通り、収入の全てを「長崎都市経営戦略推進会議」へ助成いたしました。

助 成：平成25年1月 8日	16,809,475 円
平成25年2月13日	500,000 円
平成25年4月 1日	10,379 円
平成25年6月10日	100,000 円
合 計	17,419,854 円

以上

長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会

第1期 収支決算

【平成24年8月1日～平成25年7月31日】

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差引	摘要	
収入	会費(正会員:主催団体)	2,500,000	2,500,000	0	4団体
	会費(正会員:その他団体)	17,000,000	14,899,475	▲ 2,100,525	46社 1000千円×3、800千円×1 500千円×13、300千円×5 200千円×7、100千円×17
	会費(賛助会員)	500,000	20,000	▲ 480,000	2社
	雑収入	0	379	379	預金利息
合計	20,000,000	17,419,854	▲ 2,580,146		
支出	助成金	20,000,000	17,419,854	▲ 2,580,146	長崎都市経営戦略推進会議へ 助成
	合計	20,000,000	17,419,854	▲ 2,580,146	
収支差額		0			
次期繰越金		0			

長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会
第2期 事業計画(案)

【平成25年8月1日～平成26年7月31日】

1. 活動方針

長崎地域経済の活性化を図ることを目的に活動する長崎都市経営戦略推進会議を資金面から支援する。

2. 事業

(1)資金支援の基盤を構築するため、正会員及び賛助会員の募集活動を推進する。当面、年間20百万円の会費収入を目指す。

(2)会費収入の全額を長崎都市経営戦略推進会議へ助成する。

以上

長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会
第2期 収支予算(案)

【平成25年8月1日～平成26年7月31日】

(単位：円)

科 目		予算額	第1期実績	差引	摘要
収 入	会費(正会員：主催団体)	2,500,000	2,500,000	0	4団体
	会費(正会員：その他団体)	17,300,000	14,899,475	2,400,525	46社→60社
	会費(賛助会員)	200,000	20,000	180,000	2社→20社
	雑収入	0	379	▲379	
	前期繰越金	0	0	0	
合 計		20,000,000	17,419,854	2,580,146	
支 出	助成金	20,000,000	17,419,854	2,580,146	長崎都市経営戦略推進 会議への助成
	合 計	20,000,000	17,419,854	2,580,146	

長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会
役員選任

会長 長崎都市経営戦略推進会議 議長 里 隆光
(長崎商工会議所 副会頭)

副会長 長崎商工会議所 会頭 上田 恵三
長崎経済同友会 代表幹事 宮脇 雅俊
長崎県経営者協会 会長 橋本 州史
長崎青年会議所 理事長 武藤 剛

幹事 12 名

会社名	肩書	氏名
アイティーアイ(株)	代表取締役	市川 雅夫
九州旅客鉄道(株)長崎支社	支社長	山下 信二
協和機電工業(株)	代表取締役会長	坂井 俊之
(株)十八銀行	代表取締役頭取	宮脇 雅俊
長崎自動車(株)	代表取締役会長	上田 恵三
(株)長崎新聞社	代表取締役社長	本村 忠廣
長崎船舶装備(株)	代表取締役会長	永井 剛
長崎放送(株)	代表取締役社長	上田 良樹
松藤グループ	代表	松藤 章喜
三菱重工業(株)長崎造船所	所長代理	森岡 公隆
三菱長崎機工(株)	代表取締役社長	白石 公正
(株)メモリード	代表取締役	吉田 茂視

会計監事 2 名

会社名	肩書	氏名
(株)ひぐち	代表取締役会長	樋口 省二
ヤナセ産業(株)	代表取締役社長	平松 喜一郎

資金支援協議会 名簿（あいうえお順）

平成25年7月31日現在

	会社名	肩書	名前
1	アイティーアイ(株)	代表取締役	市川 雅夫
2	(株)イシマル	代表取締役	石丸 利行
3	扇精光(株)	代表取締役	扇 健二
4	(株)カステラ本家福砂屋	代表取締役	殿村 育生
5	九州商船(株)	代表取締役社長	美根 晴幸
6	九州電力(株)長崎支社	執行役員長崎支社長	中西 章夫
7	九州旅客鉄道(株)長崎支社	長崎支社長	山下 信二
8	協和機電工業(株)	代表取締役会長	坂井 俊之
9	(株)九電工長崎支店	理事支店長	塚原 修二
10	(株)クリーン・マツト	代表取締役	田中 信之
11	後藤運輸(株)	代表取締役社長	牧 文春
12	西部ガス(株)長崎支社	執行役員長崎支社長	村瀬 廣記
13	島原鉄道(株)	代表取締役社長	本田 哲士
14	滲透工業(株)	代表取締役社長	西 亮
15	(株)十八銀行	代表取締役頭取	宮脇 雅俊
16	(株)親和銀行	代表取締役	小幡 修
17	(有)正文社印刷所	代表取締役社長	岩永 正人
18	(株)損害保険ジャパン	支店長	青木 潔
19	大和ハウス工業(株)	支店長	藤井 公彦
20	長工醤油味噌協同組合	理事長	松尾 雄人
21	チョコレート(株)	代表取締役	林田 邦彦
22	(株)チューケン日本医薬中央研究所	代表取締役	本多 徳光
23	(株)チョープロ	代表取締役	荒木 健治
24	(株)テレビ長崎	代表取締役社長	柿川 照穂
25	長崎経済同友会	代表幹事	宮脇 雅俊
26	長崎県経営者協会	会長	橋本 州史
27	長崎自動車(株)	代表取締役会長	上田 恵三
28	長崎商工会議所	会頭	上田 恵三
29	長崎船舶装備(株)	代表取締役会長	永井 剛
30	長崎総合警備(株)	代表取締役社長	鶴巻 重次
31	長崎倉庫(株)	代表取締役社長	中部 憲一郎
32	長崎電気軌道(株)	代表取締役社長	松本 容治
33	長崎文化放送(株)	代表取締役社長	前原 晃昭
34	長崎放送(株)	代表取締役社長	上田 良樹
35	(株)長崎銀行	取締役頭取	山本 一雄
36	(株)長崎経済研究所	代表取締役	篠原 俊一
37	(株)長崎ケーブルメディア	代表取締役社長	佐藤 修
38	(株)長崎国際テレビ	代表取締役社長	小林 敬三
39	(株)長崎新聞社	代表取締役社長	本村 忠廣
40	(有)長崎青年会議所	理事長	武藤 剛
41	西日本電信電話(株)長崎支店	支店長	小林 茂樹
42	野母商船(株)	代表取締役社長	村木 昭一郎
43	服部産業(株)	代表取締役	服部 一弘
44	(株)浜屋百貨店	代表取締役社長	中牟田 新一
45	(株)ひぐち	代表取締役会長	樋口 省二
46	(株)文明堂総本店	代表取締役	中川 安英
47	松藤グループ	代表	松藤 章喜
48	三菱重工業(株)長崎造船所	所長	橋本 州史
49	三菱長崎機工(株)	取締役社長	白石 公正
50	(株)メモリード	代表取締役	吉田 茂視
51	ヤナセ産業(株)	代表取締役	平松 喜一朗
52	ラッキー自動車(株)	代表取締役社長	川添 暢也
53	(株)渡辺造船所	代表取締役社長	渡邊 悦治

長崎都市経営戦略推進会議 第3期事業報告

(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日)

1. 概要

本プロジェクトは、2010 年に「みんなでつくろう元気な長崎」をスローガンに、地域経済の衰退に歯止めをかけるべく設定した 2020 年の定量目標を目指して、産学官連携して推進活動に着手した。

活動開始後、旗印とした連携(目標の共有と協働をめざして)は相応に進み、個別テーマも課題解決に向けた動きが着々と進みつつある。また新幹線西九州ルート諫早・長崎間の着工をはじめとして、数々の大型プロジェクトが具体化するなど、当地域にとってフォローの風となりうる動きが出ている。

こうした中で、「基幹製造業」「観光」「水産」「大学」の4つの重点分野に係る9つのワーキングチームの活動及び分野横断的な活動等を強力に展開してきました。

2. 第3期の特記事項

- ◇「ながさき海洋・環境産業拠点特区」の指定獲得と認定に向けた協議会活動
- ◇倉庫・宿泊対策など、客船建造体制の支援策の進捗
- ◇国際コンテナ航路の週3便化(増便)実現
- ◇民間金融機関の地域活性化ファンド創設と、産学官連携によるサミット関連事業支援
- ◇インバウンド促進のまちづくり(エアーマネジメント)の推進
- ◇総おもてなし運動の推進・定着(おそうじさるくの開始、観光案内の充実対策の進展等)
- ◇「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録推進の支援活動
- ◇夜景観光の整備進捗
- ◇コンベンション施設整備可能性調査完了を受けた具体的検討進捗
- ◇長崎かんぼこ王国、新商品・揚げかんぼこ「出島揚げ」の開発と「チャポリタン」販売増加
- ◇長崎留学生支援コンソーシアム、長崎留学生支援センターの活動展開、法人化準備
- ◇長崎大学の新学部(多文化社会学部)の設置申請(6月)
- ◇若手経済人の本プロジェクト強化への提言とりまとめ
- ◇長崎日蘭協会の設立(表門橋架橋等出島復元進捗に合わせた日蘭交流体制の推進)
- ◇しおかぜ総文祭に合わせた「光のプレゼント」実施
- ◇活動の広がり

【長崎サミット】

- 第5回長崎サミット 平成24年8月1日
- 第6回長崎サミット 平成25年2月1日
- 第7回長崎サミット 平成25年7月29日

【長崎都市経営戦略推進会議】

- 第19回長崎都市経営戦略推進会議 平成24年11月8日
- 第20回長崎都市経営戦略推進会議 平成24年12月20日
- 第21回長崎都市経営戦略推進会議 平成25年1月11日
- 第22回長崎都市経営戦略推進会議 平成25年1月25日
- 第23回長崎都市経営戦略推進会議 平成25年5月28日
- 第24回長崎都市経営戦略推進会議 平成25年6月20日

- 第 25 回長崎都市経営戦略推進会議 平成 25 年 7 月 9 日
- 第 26 回長崎都市経営戦略推進会議 平成 25 年 7 月 23 日

【ワーキング活動】

ワーキング活動については、資料 3(各ワーキング毎のアクションプラン)を参照

【その他諸活動】

- インバウンド対策の充実にかかる提言(平成 24 年 8 月)
- 長崎都市経営戦略推進会議への資金支援協議会設立(平成 24 年 10 月)
- ながさき海洋・環境産業拠点特区に係る陳情活動(平成 24 年 11 月)
- 若手経済人の提言「長崎サミット・プロジェクトの強化に向けて」(平成 25 年 1 月)
- 世界遺産「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に係る陳情活動(平成 25 年 6 月)
- 「ひかりのプレゼント」実施(平成 25 年 7 月)
- 各種会議・協議会・講演会等への参加
 - ・ながさき海洋・環境産業拠点特区地域協議会
 - ・長崎県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会
 - ・インバウンド研究会
 - ・観光ネットワーク推進協議会
 - ・市観光アクションプラン検討会
 - ・第 12 回海事セミナー
 - ・MICE 講演会
 - ・日本版 EMEC 説明会
 - ・官民連携協議会
 - ・観光バリアフリーおもてなし講習会
 - ・アダプトプログラム会議
 - ・県庁跡地懇話会
 - ・おもてなし推進大会
 - ・クルーズ講演会

3. 主要施策毎の進捗と課題

《 分野横断的 》

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録推進

- 進捗状況 ー ・県世界遺産登録推進県民会議の発足と参画
 ・民間の活動進展(交通関係、金融機関、マスコミ等の応援活動等)
 ・「ながさきクリスマス」等への参加登録活動支援
- 課 題 ー 指定獲得へのさらなる活動

中小企業の新分野進出支援

- 進捗状況 ー 新分野進出等の支援ファンド新設、ほか
- 課 題 ー 企業・事業所数の減少、中小企業の新分野進出の支援体制の再構築

経済基盤強化へのまちづくり(まちなか全体のエリアマネジメント推進)

- 進捗状況 — まちなか全体のエリアマネジメント(ランドデザインに沿った着実な推進)の勉強会開催
等認識の拡大、市のまちぶらプロジェクト推進
- 課題 — ・まちづくりの具体的活動
・民活の掘り起こし
・関連組織との協議

国際都市長崎へ向けた産学官一体での国際交流拡充

- 進捗状況 — 長崎日蘭協会の設立(1月)、長崎市・ライデン市の市民友好都市提携、などの交流拡大
- 課題 — 国際交流都市長崎の再生に向けた、交流活動の拡充、留学生・市民等の交流の場の拡充による交流人口拡大等経済活性化の推進

《 基幹製造業 》

総合特区(ながさき海洋・環境産業拠点特区)の認定への協議会活動

- 進捗状況 — 行政、造船業、経済団体等による協議会で区域計画の認定に向け協議中
- 課題 — 早期認定獲得と、特区を活用した取組の具体化

高付加価値船、大型船舶の建造拡大に向けての環境整備の促進

- 進捗状況 — 順次情報提供中(倉庫、宿泊、駐車場等)
国際コンテナ航路の週3便化実現
- 課題 — 個別案件毎の具体的進捗

基幹製造業の事業再編に対応した取組み支援

- 進捗状況 — 三菱重工業・日立製作所の発電システム分野の統合新会社 14年1月発足へ
- 課題 — 情報収集、連携協議

基幹製造業の動きに合わせた事業誘致対策

- 進捗状況 — 造船関連県外調達企業と地場企業との提携・部品受注等を推進中
- 課題 — ・誘致・提携企業の発掘等情報収集及び誘致・提携等推進、用地・インセンティブ等誘致の条件整備
・建設業等からの新たな事業参入

地場企業の競争力強化への支援

- 進捗状況 — 造船関連技術者育成支援事業、12年度開始。
- 課題 — 人材育成、設備投資・雇用維持、県外企業との事業連携等への支援

《 観 光 》

総おもてなし運動の徹底推進

- 進捗状況 — 長崎地域の総おもてなし運動の進展・・・ユニバーサルツーリズム等(長崎市観光ネットワーク推進協議会)、アダプトプログラム、おそうじさるく(おもてなしWT)
- 課題 — ・おもてなし運動の拡がり不足

- ・観光従事者のレベルアップ
- ・運動参加団体の拡大(アダプトプログラム、おそうじさるく等)

MICE(コンベンション)の施設整備と誘致推進

- 進捗状況 ー 「長崎MICEセンター整備可能性調査」結果を受けた事業の精査・見極め
- 課題 ー ・施設用地の確保、事業主体・事業者決定など
- ・MICE誘致活動の推進

観光資源の磨きと活用(世界新三大夜景の活用・維持拡充など夜景観光推進)

- 進捗状況 ー ・市が稲佐山ロープウェイ、展望台、レストラン等整備
- ・民間企業によるバスツアー実施
 - ・夜景ウィーク実現への活動展開(全国の高校生に光のプレゼントを！)
- 課題 ー ・域内外への発信
- ・稲佐山以外の視点場整備、民間企業の夜景活用商品開発
 - ・夜景の維持(斜面地の人口・世帯減等による光の減少歯止めと増加)
 - ・まちの魅力の「見える化」

インバウンド対策推進へのまちづくり

- 進捗状況 ー ・「インバウンド対策の充実にかかる提言」を県庁跡地懇話会へ説明
- ・WT再編による体制強化(マーケット対策WT、観光資源の再構築WT)
 - ・関西経済界との連携(大阪商工会議所等との関係強化)
 - ・市のあじさいコールに外国人旅行者専用ダイヤル設置、4か国語外国人個人旅行者向けマップ作成、まちぶらプロジェクト推進
- 課題 ー ・関西圏等の観光客誘致活動、関西圏経済界等との連携強化、情報発信強化のための体制作り
- ・クルーズ船観光客の長崎滞在・観光促進の具体的仕掛け、商品開発
 - ・関西圏とのアクセス改善、増強等
 - ・留学生資格外活動の許可要件の緩和対応

《 水 産 》

水産練り製品の域外展開の推進

- 進捗状況 ー 業界を中心に順調に活動展開、新商品「出島揚げ」も開発
- 課題 ー 水産練り製品の県外展開の強化・推進、練り製品以外の分野発掘

練り製品に続く水産業振興にかかる戦略の検討

- 進捗状況 ー 水産人材育成・海洋サイバネティクス事業(長崎大学)進捗等
- 課題 ー ・水産人材育成の強化
- ・練り製品以外の水産物の域外展開推進
 - ・養殖事業等の拡充・推進
 - ・消費拡大や水産業の重要性再認識につなげる魚食推進

《 大 学 》

留学生支援センター事業の推進と留学生支援体制の充実

- 進捗状況 ー 産学官による長崎留学生支援コンソーシアムを2月1日設立、その下に「長崎留学生支援センター」を設置し、活動開始。
- 課 題 ー 長崎留学生支援センター事業の推進と拡大

産学官連携の推進

- 進捗状況 ー 長崎県中小企業団体中央会と連携した取り組みを協議
- 課 題 ー 産学コーディネーターの育成・確保と活用

長崎大学の新学部設置の推進支援

- 進捗状況 ー グローバル人材育成に向けた新学部(多文化社会学部)14年度開設へ申請書提出
新学部設置の地域貢献・期待等に関するサミット枠での要望書提出(5月)
- 課 題 ー 新学部(認可申請、13年6月)の早期認可獲得および新学部の広報等

国際都市長崎へ向けた産学官一体での活動

- 課 題 ー 国際交流都市長崎の再生に向けた、留学生・市民等の交流の場の拡充

《 そ の 他 》

人口減少下での労働力人口の確保による生産活動維持

- 課 題 ー 地域経済における少子高齢化・生産年齢人口の減少傾向に対応した、高齢者および女性の就業率引き上げ(全国的に低い就業割合)

《 推進体制 》

活動の層の拡がり

- 進捗状況 ー ・商工会議所青年部で「コンベンション、夜景観光」に関する提言策定。夜景観光の推進にかかる事業実施。
- 課 題 ー 若手の活動参加の促進

活動の地域の拡がり

- 進捗状況 ー 佐世保地区への連携・支援、佐世保地域活性化推進協議会の発足(13年7月)
その他地域への呼びかけ
- 課 題 ー 具体的な連携および支援活動の展開、情報収集・発信

中央の賢人アドバイザー組織作り

- 進捗状況 ー 中央でご活躍の長崎ゆかりの賢人リストアップ
- 課 題 ー 具体的なメンバー選定と組織づくり

資金支援協議会の拡充

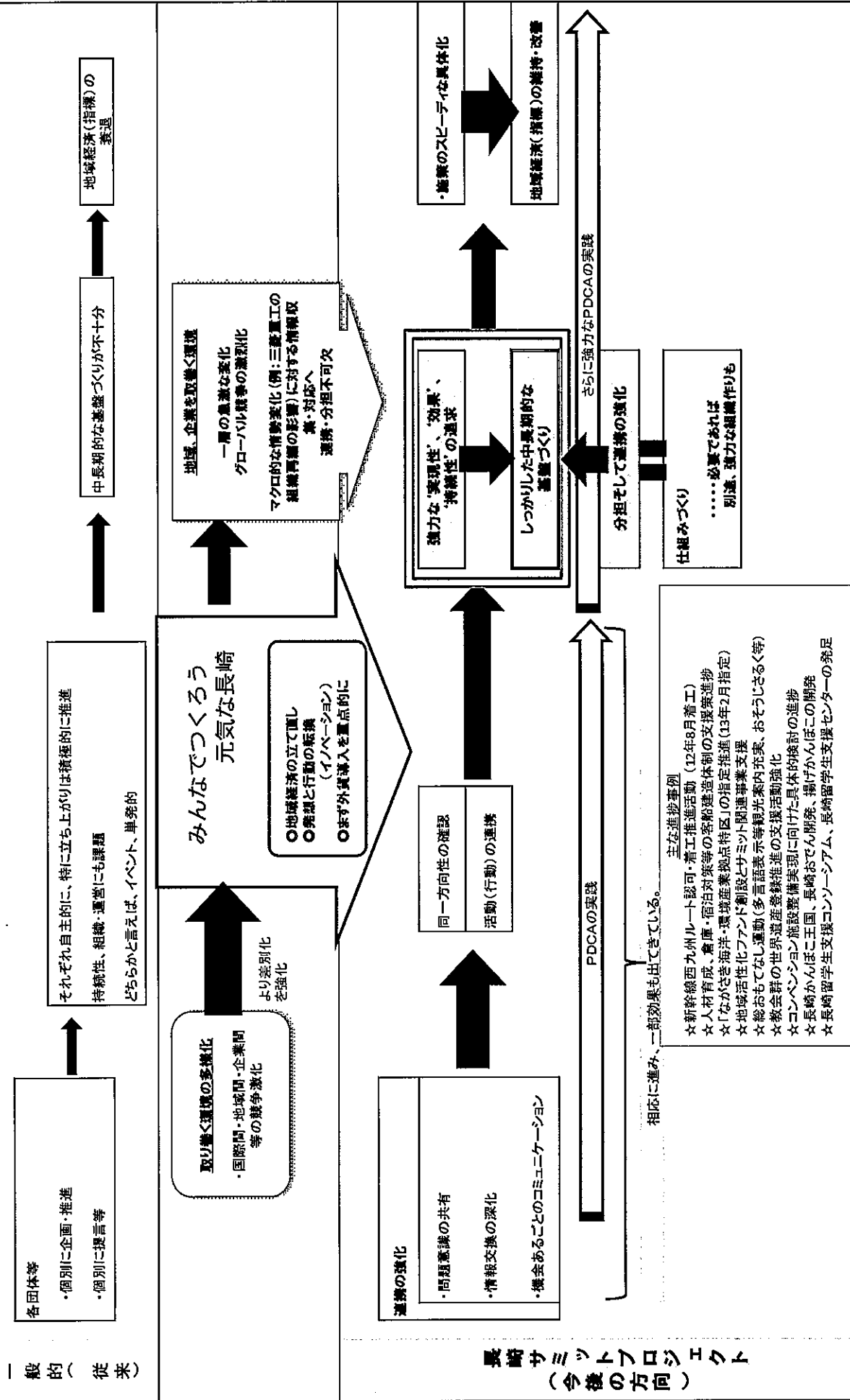
- 進捗状況 ー 12年10月、会員45社で発足、予算規模2千万円
- 課 題 ー 会員の増強と会費拡大による推進会議への支援強化

掲げた定量目標と現状の参考指標

項目	当初	現状	2020年
基幹製造業 (生産誘発額)	08年度) 6,611億円	12年度) 5,137億円	6,192億円
基幹製造業本体(3社)の生産高	08年度) 5,160億円	12年度) 3,982億円、前年度比2.8%増	5,160億円
地元受注率10%ポイント引上げ	08年度) 44.0%	12年度) 44.9%、前年度比3.6ポイント増	
3社の地元発注額	08年度) 1,878億円	12年度) 1,450億円、前年度比14.0%増	
3社の雇用者数	08年度) 10.8千人	12年度) 9.4千人、前年度比5.0%減	
観光 (生産誘発額)	08年) 1,156億円	12年) 1,570億円	1,723億円
観光消費額	08年) 865億円	12年) 1,154億円 前年比5.2%増	1,300億円
観光客数	08年) 556万人	12年) 595万人 前年比0.1%増	700万人
宿泊者数	08年) 246万人	12年) 259万人 前年比2.3%増	350万人
外国人延べ宿泊者数		12年) 13万人 前年比10.7%増	
コンベンション開催件数		12年) 1,049件 前年比2.6%増	
コンベンション参加者数		12年) 39万人 前年比16.4%増	
国際クルーズ客船 寄港数		12年) 72隻 前年比53隻増	
乗客数		12年) 8.1万人 前年比5.5万人増	
主要観光施設入場者数(グラバー園、原爆資料館、歴博)		12年度) 206万人、前年度比6.3%増	
夜景観光 稲佐山展望台		12年度) 48.2万人、前年比16.7%増	
交通機関 路面電車		12年) 前年比1.9%減	
タクシー乗客数		12年) 前年比1.7%減	
JR長崎駅乗降客数		12年度) 779万人、0.4%減	
長崎空港乗降客数		12年度) 273万人、前年度比10.7%増	
有料道路利用台数 出島道路		12年度) 前年度比2.5%増	
イベント観客数 長崎くんち		12年) 23万人、前年比2万人減	
ランタンフェスティバル		13年) 101万人 前年比24万人増	
帆船まつり		13年) 20.3万人、前年比1万人減	
水産 (生産誘発額)	07年度) 664億円		856億円
練り製品販売・生産額	07年) 60億円		120億円
長崎かんぼこ王国 会員数		正会員15社、賛助会員31社	
長崎おでん・売り上げ		12年度30百万円(初年度15百万円)	
おでんだし・売り上げ		12年度8500本(初年度6800本)	
ちゃポリタン売り上げ		売上数量20万食超(13年5月まで)	
大学 (生産誘発額)	08年度) 600億円		654億円
学生・教職員消費及び大学支出	08年度) 587億円		632億円
学生数3000人、教職員300人増	07年度) 学生16.4千人	12年度) 15.3千人 前年比3.6%減	
	08年度) 教職員3.0千人	12年度) 3.4千人 前年比1.7%増	
留学生数(日本学生支援機構まとめ)	08年度) 1,418人	12年度) 1,461人、前年度比3.8%減	
地域内産出額	07年度) 389百億円	10年市町民経済計算未発表	359百億円
* 県内総生産			
有効求人倍率(ハローワーク長崎)		13年5月) 0.64倍 前年比0.10上昇	

県民所得の向上

より一層の分担・連携の必要性と今後の方向



第 7 回長崎サミットへの提議

長崎サミット

上田 恵三 長崎商工会議所会頭 中村 法道 長崎県知事
宮脇 雅俊 長崎経済同友会代表幹事 田上 富久 長崎市長
橋本 州史 長崎県経営者協会会長 片峰 茂 長崎大学学長
武藤 剛 長崎青年会議所理事長 殿

長崎都市経営戦略推進会議
議長 里 隆光

本プロジェクトは、2010 年に「みんなでつくろう元気な長崎」をスローガンに、地域経済の衰退に歯止めをかけるべく設定した 2020 年の定量目標を目指して、産学官連携して推進活動に着手した。

活動開始後、旗印とした連携(目標の共有と協働をめざして)は相応に進み、個別テーマも課題解決に向けた動きが着々と進みつつある。また、新幹線西九州ルート諫早・長崎間の着工をはじめとして、数々の大型プロジェクトが具体化するなど、当地域にとってフォローの風となりうる動きが出ている(別紙1)。

一方では、諸経済指標は一部に好転の動きがみられるものの、経済基盤の持続的な底上げという面では未だ十分とはいえず、これからが正念場と言える。今こそ、更に強力な分担と連携を進め、持続的な指標の維持向上を目指すことが求められている。

最近の当地域における経済環境・動向等を十分認識した上で、本プロジェクト第 2 ステージ(経済基盤づくり)の対策を徹底して講じ、2014 年 8 月から計画している第 3 ステージ(成果を示すステージ)へつなげていかなければならない(別紙2)。

こうした認識のもと、以下を提議する。

1. 本日の長崎サミットで確認願う事項

確認をもとに推進会議で企画・推進を行う。

(1) 定量目標達成に向けて運営体制を強化する。

① 計数管理の強化

- イ. めざす定量目標として、GDP(県内総生産)に加え、長崎県提唱の県民所得を掲げ、フォローする。
- ロ. 比較的早期に入手可能な指標を選び、それをフォローすることで進捗状況を把握し、対策を徹底する。(別紙3)

② 分担の明確化

- イ. 年 2 回の長崎サミットにおいては、当面する最重要テーマに絞り込み、今後の推進の分担について可能な限り方向性を示してもらうことで、具体的な成果追及のスピード化をはかる。
- ロ. ワーキングチームにおいては、組成メンバーにテーマに直結する団体、関係事業者等に参加要請し、当事者を交えた分担等を明確化し、推進のスピード化をはかる。

(2) 主要施策毎の進捗状況と課題、当面の対応方針(別紙 4)

<参考>

- ・この 1 年間の長崎サミットで提起された主要な事項の進捗と対応状況 参考資料 1
- ・主要施策毎のアクションプラン(ワーキングチーム) 参考資料 2

2. 本日の長崎サミットで意見交換願う事項

意見交換の内容にもとづき、推進会議で今後の推進を協議し、活動する。

本日は、現在特に対応を検討し強化すべきテーマを下記の3点抽出した。このテーマを中心に、分担を含めた推進の方向性等について意見交換を願いたい。

➤ 県民所得向上に向けた中小・中堅企業の新分野進出等の支援対策(別紙5-1)

- ・当地域では事業所・企業が減少傾向にあり、従来から地域経済活性化対策の課題であった。
- ・国の成長戦略では、中小企業等の革新を掲げ諸施策が打ち出されている。
- ・長崎県では、県民所得向上対策が打ち出されているところであり、基幹製造業関連の動向も踏まえ、広く中小・中堅企業の新分野進出・創業支援等への対策に動く時期であると判断されることより、本テーマを選んだ。

➤ 夜景観光の充実と対外発信の強化(別紙5-2)

- ・長崎市の夜景は世界新三大夜景に選定され、観光客の増加につながっているが、夜景観光にかかる環境整備、認知度向上等、課題が多い。
- ・九州新幹線西九州ルート開業まで9年、教会群の世界遺産登録へ向けた動き等、当地域では多様な追い風が吹いてきつつある。これらの活用等に積極的に動かなければならない。
- ・活用等の重要テーマの一つは対外マーケット対策であるが、その具体策を更に構築する必要がある。長崎の世界新三大夜景が注目されている今、対外発信を強化する方策を詰め、対外マーケット対策につなげ、その他の今後へ広がるテーマへの活用に結びつけたく、意見交換を願うこととした。

➤ 国際物流体制の充実・強化(別紙5-3)

- ・本プロジェクトの地域経済活性化手法の一つに外貨獲得を掲げ、活動の推進をしてきた。外貨獲得にはヒト・モノの動きを活発化する対策が必要であるが、モノの動きの活発化については本プロジェクトでは議論のみに終わっている状況にある。
- ・折しも、長崎港の国際コンテナ航路の週3便化実現を機に本件をテーマとして採り上げた。
- ・モノの動きを論議する際、陸上、海上、航空について総合的に検討を加えるべきであろうが、本日は、まず海上輸送にかかる貨物の集荷を中心に意見交換を願いたい。

➤ その他

- ・以上の3点のテーマの他に、特に方向性等についてご意見があれば伺いたい。

3. 次回「第8回長崎サミット」の日程

平成26年2月3日(月)

第7回長崎サミット トップ意見交換要旨

意見交換テーマ		トップ発言内容		推進会議の主要施策
提 議	県民所得向上に向けた 中小・中堅企業の新分野 進出等の支援対策	県	○本県の特徴ある製造業の活性化、振興 ○技術力向上、市場開拓支援、「戦略産業雇用創造プロジェクト」での雇用 開発・人材育成プロジェクト等のメニューの周知、活用促進	・特区地域協議会への参加及び基 幹製造業関連2ワーキングにて活動 (9/24、会議所で開催予定)
		会議所	○特区の仕組みについての説明会開催	
		同友会	○若手求職者に手当を支給しながら研修を行うプランに、中小企業が参加 してもらおう対策の掘り下げ	
		経営者協会	○「県民所得向上」に向けた取り組みの周知、理解のための説明会開催 (9/6) ○若手求職者へ手当を支給の上で研修、就業体験を行い、直接雇用につ 結び付ける施策の実施	
		市	○地場企業ネットワーク促進支援、経営力育成セミナー開催 ○「実践型地域雇用創造事業」による長崎の食と観光を活かした雇用 創出	
		大学	○トップダウンで分野横断的に研究者と地域が連携する仕組みづくり	
	夜景観光の充実	市	○鍋冠山、立山の展望台整備のための基本設計、稲佐山遊歩道整備着手 ○県と共同で「長崎の夜景の在り方に関する検討会」開催 ○街路灯LED化の夜景への影響検討	観光資源の磨きと活用 ・視点場整備(市) ・夜景維持・充実対策(推進会議、県 市) ・夜景ウィーク(青年3団体、推進会 議)
		青年会議所	○県と市の検討会への青年3団体の参加(希望)	
		会議所	○唐八景中腹への電光掲示板設置	
		同友会	○節約と節電の混同払拭	
対外発信の強化	会議所	○東京でのアンテナショップ開設	観光資源の磨きと活用 ・域外への発信強化(推進会議) ・「和の磨き」シンポジウム(観光資 源WT、市、コンベンション協会)	
	県	○海外での知名度向上 ○「ひかりと祈り 光福の街 長崎」の繰り返した発信		
	同友会	○対外発信の強化 ○「光のおもてなし 県民ハガキ100万枚キャンペーン」		
	市	○観光従事者の顧客満足向上		
国際物流体制の充実・強	会議所	○企業誘致の強化		
	市	○トップによるポートセールス ○地場企業の振興、企業誘致		
	県	○小ヶ倉柳埠頭、上屋の整備、港湾荷役の効率化		
任 意	留学生支援センター及 び新学部設置	大学	○予算基盤確立(寄付依頼) ○法人格の取得 ○新年度新入生への新学部設置周知	留学生3千人委員会で協議
	総合特区と客船建造	経営者協会	○特区指定を受け物流関係の規制緩和について県と調整、今後手続きの 簡素化や在庫管理特例措置について協議	特区地域協議会へ参加
	長崎駅周辺におけるまち	県	○「長崎駅周辺の統一感のある都市景観の形成に向けてデザインを検討 する体制」の立ち上げ	経済基盤強化へのまちづくり ・エリアマネジメントの強化につい て関連の組織と協議(推進会議) ・都市再生整備事業説明会開催 (県、市)
		同友会	○県庁跡地について活用の明快なコンセプトを示す必要性	
	MICE整備	市	○整備スキームの中の運営をしっかりとやっていく体制について県と協議	・推進会議で対応 MICE施設整備 ・施設整備の推進、スキーム等の 構築(市) ・ファイナンス面からの検討(同友 会、金融機関)
		県	○採算、運営面の課題検討	
		同友会	○長崎のマーケット、体力に見合った採算性、持続性の確認	
その他	青年会議所	○官民の団体を越えた若手中心、有志による実践的な取り組み		

長崎都市経営戦略推進会議
第3期 決算

【平成24年8月1日～平成25年7月31日】

(単位:円)						
科目	予算額(A)	決算額(B)	対比(B=A)	摘要		
収入	助成金等	20,000,000	17,850,568	▲ 2,149,432	前期繰越 430,714 資金支援協議会からの助成 17,419,854/52社	
	雑収入	0	390	390	預金利息	
	合計	20,000,000	17,850,958	▲ 2,149,042		
支出	活動費	会議費	1,200,000	752,679	▲ 447,321	サミット2回486千円、 推進会議・ワーキング会議室使用料20回204千円 飲料代58千円
		渉外費	4,800,000	253,708	▲ 4,546,292	基幹製造業合同説明会115千円、海事局長講演会76千円 特区要請活動21千円、会合等参加費37千円
		広報費	3,000,000	2,145,450	▲ 854,550	広報活動(新聞広告1,900千円、チラシ51千円) HP管理保守費105千円、HP移管費84千円、
		予備費	2,000,000	0	▲ 2,000,000	
		小計	11,000,000	3,151,837	▲ 7,848,163	
	事務費	業務委託費	7,000,000	7,000,000	0	長崎都市経営戦略推進プロジェクトに係る企画、立案及び実施への支援業務 並びに総合調整業務の委託人件費 (業務委託先:長崎経済研究所)
		印刷費	800,000	565,474	▲ 234,526	複合機使用料552千円、外注印刷13千円
		通信費	200,000	129,196	▲ 70,804	インターネット85千円、電話料18千円、書類発送料22千円
		旅費	300,000	231,440	▲ 68,560	特区関係(2回3名)189千円、今治海事展42千円
		交通費	300,000	227,240	▲ 72,760	タクシー200千円、スマートカード21千円、JR5千円
		雑費	400,000	63,517	▲ 336,483	事務用品27千円、ビジネスWEB月間使用料21千円 手数料8千円、名刺5千円、
		資金支援協議会経費	0	33,390	33,390	印鑑18千円、会議室使用料14千円
	小計	9,000,000	8,250,257	▲ 749,743		
	合計	20,000,000	11,402,094	▲ 8,597,906		
収支差額		6,448,864				
次期繰越金		6,448,864				

長崎都市経営戦略推進会議
第4期 事業計画
【平成25年8月1日～平成26年7月31日】

1. 活動方針
経済停滞が続く長崎地域の現状に危機感を共有し、産・学・官関係者がより一層強力に連携し、地域経済活性化に向けた活動を推進する。
2. 長崎サミット
年2回程度長崎サミットを開催し、推進会議から提起された重点推進施策を確認し、共通認識を持って意見交換を行い、必要に応じてアドバイスを行う。
3. 長崎都市経営戦略推進会議
推進会議は、「基幹製造業」「観光」「水産業」「大学（教育）」の4分野の重点推進施策にかかるアクションプランを策定し、その進捗・実績のフォロー、課題解決等を図り、活動推進に当たる。さらに、必要に応じ、関係行政機関等への要請活動を行う。
4. ワーキングチーム（WT）の活動
各ワーキングチーム等は、詳細なアクションプランの策定とPDCA体制の構築により、具体的な諸活動を推進する。

基幹製造業

「造船（技術）の町」長崎の再構築を目指し、基幹製造業関連及び地場中小企業への支援策の検討・推進を行う。

- (1) 基幹製造業関連の振興対策
- (2) 地場中小企業への振興対策

観光

「国際（アジア）観光の町」長崎の構築を目指し、地域の大型プロジェクトを見据えたインバウンド・受入体制の強化を推進する。

- (3) マーケット対策
- (4) おもてなしの飛躍的向上
- (5) 観光資源の再構築
- (6) コンベンション、クルーズ対策の強化、他地域連携

水産業

「水産の町」長崎の強化を目指し、練り製品等の販路・生産拡大を推進する。

- (7) 長崎地域水産練り製品ブランド化推進

大学（教育）

「アジアの学都」長崎の構築を目指し、留学生拡大対策及び産学官連携活動への支援策を推進する。

- (8) 留学生受入体制の充実
- (9) 産学官連携

5. ワーキング活動等への活動支援

長崎サミットプロジェクトの推進に関して、重点課題等への対応及びワーキングチーム等の活動がより効果的に行われるよう、その経費について助成する。

対象活動及び助成額については、活動の内容等を勘案し、「議長」「副議長」「担当推進委員」及び「関係ワーキングチーム座長」の協議により決定する。

6. 第2ステージ第5～6ラウンドにおける当面の対応方針

《 分野横断的 》

世界遺産登録推進

- ・「産業革命遺産(長崎地区)」登録への活動支援を行う。
- ・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」のH28年登録を目指し、関係団体等と一体となった支援を行う。

中小企業の新分野進出支援

- ・多様化・専門化する中小企業の経営課題に「ワンストップ」で対応するための支援体制について、商工会議所をリーダーとして検討する。

経済基盤強化へのまちづくり(まちなか全体のエリアマネジメント推進)

- ・ランドデザインの提示について県、市と協議を行う。
- ・県懇話会への要請活動(情報発信等拠点、インバウンド対策への活用)

国際都市長崎へ向けた産学官一体での国際交流拡充

- ・国際交流の広場づくりについて、大学・県・長崎留学生支援センター等の活動を支援する。

《 基幹製造業 》

総合特区(ながさき海洋・環境産業拠点特区)の認定への協議会活動

- ・地域協議会へ参画し、「地域活性化総合特別区域計画」の認定へ向け関係企業の活動に協力するとともに、予定されている「長崎地域ワーキング」の活動を支援する。
- ・日本版EMECの推進にあたり、県、長崎工業会等と連携を密にし、海洋産業・環境エネルギー分野への地場企業の幅広い参入法を検討する。

高付加価値船、大型船舶の建造拡大に向けての環境整備の促進

- ・倉庫・宿舍等の対策について、関係者・団体と連携して具体的対応を進める。

基幹製造業の事業再編に対応した取組み支援

- ・三菱重工業・日立製作所の発電システム分野の統合新会社の情報収集に努め、基幹製造業の事業所として、地場企業との連携について意見交換等を行う。

基幹製造業の動きに合わせた事業誘致対策

- ・(財)長崎県産業振興財団が行うビジネスマッチング等への積極的な参加を促す。

地場企業の競争力強化への支援

- ・「長崎県戦略産業雇用プロジェクト」に参画し、次世代造船から海洋産業へと続く人材育成、雇用維持に係る施策推進を支援する。

《 観 光 》

総おもてなし運動の徹底推進

- ・長崎県総おもてなし運動と連携し、長崎地域におけるおもてなし運動の実践を推進、参加団体拡大を図る。
- ・お誕生日プロジェクトの支援

MICE（コンベンション）の施設整備と誘致推進

- ・施設整備の推進、用地の確保、事業主体・スキームの構築について県、市と協議をし、事業の進展を支援するとともにMICE推進のためのプラットフォームづくりを支援する。

観光資源の磨きと活用（世界新三大夜景の活用・維持拡充など夜景観光推進）

- ・県と市が共同で設けた「長崎の夜景の在り方に関する検討会」に推進会議の参画を要請するとともに、民間建物のライトアップ等を経済団体を通じ依頼する。
- ・「県民ハガキ 100 万枚キャンペーン」の実施を支援する。
- ・会議所青年部の「長崎夜景の楽曲制作」を支援する。
- ・まちの魅力の「見える化」のために、長崎「和」シンポジウムを開催する。

インバウンド対策推進へのまちづくり

- ・長崎地域の魅力について情報発信の強化を図る。また関西経済圏等との連携強化のため、商工会議所を中心として情報の交換、交流の拡大を図る。

《 水 産 》

水産練り製品の域外展開の推進

- ・水産練り製品の県外展開の強化・推進に向けた長崎かんぼこ推進委員会の活動に係る県、市の支援について協議する。

練り製品に続く水産業振興にかかる戦略の検討

- ・長崎西海区水産研究所における「まぐろ飼育研究施設」の開設等を踏まえ、長崎地域の養殖事業の展開について県、市と協議する。

《 大 学 》

留学生支援センター事業の推進と留学生支援体制の充実

- ・長崎留学生支援コンソーシアムの機能充実を通じて、長崎留学生支援センターの事業を支援する。
- ・長崎大学への国庫補助終了後の同センターのあり方等について、留学生 3 千人委員会において協議する。

産学官連携の推進

- ・「長崎“新生”産学官連携コンソーシアム（NRC）」や長崎大学工学部における「未来工学研究センター」の活動を支援する。

長崎大学の新学部設置の推進支援

- ・グローバル人材育成に向けた新学部（多文化社会学部）の14年度開設に向けた、広報活動等を支援する。

国際都市長崎へ向けた産学官一体での活動

- ・国際交流の広場づくりについて、大学・県・長崎留学生支援センター等と協議し、活動を支援する。

《 その他 》

人口減少下での労働力人口の確保による生産活動維持

- ・「長崎県総合計画推進会議」に委員として参加し、県の施策に対する意見・提案等を行う。

《 推進体制 》

活動の層の拡がり

- ・若手等の主体的活動を支援する。

数値による推進強化

- ・県民所得のクローズアップ、短期指標のフォローにより進捗を把握し、対策の検討に資する。
- ・数値を盛り込んだ第3ステージのアクションプランを策定する。

運営の強化

- ・ワーキングチームの活動においては、事業実施の可能性がある企業・団体等をメンバーに迎え、課題解決力を強化する。
- ・推進会議の運営を強化する。

活動の地域の拡がり

- ・佐世保地域活性化推進会議との情報交換を行う。

中央の賢人アドバイザー組織作り

- ・人選を進め、有力メンバーとの協議を開始する。

資金支援協議会の拡充

- ・会員に対し情報提供を進めるとともに、関係企業、一般企業への働きかけを行い、会員の拡充を進める。

長崎都市経営戦略推進会議
第4期 予算
【平成25年8月1日～平成26年7月31日】

					(単位:円)
科 目		予算額 (A)	第3期実績 (B)	対比	摘 要
収入	助成金	20,000,000	17,419,854	2,580,146	資金支援協議会からの助成金収入
	雑収入	500	390	110	預金利息
	前期繰越	6,448,864	430,714	6,018,150	
合 計		26,449,364	17,850,958	8,598,406	
支出	会議費	1,000,000	752,679	247,321	サミット1回、推進会議5回、ワーキング等
	渉外費	8,000,000	253,708	7,746,292	諸活動への支援 (基幹製造業合同説明会、長崎「和」シンポジウム、清掃活動、ワーキング活動、諸課題等への活動費・支援費等)
	広報費	3,000,000	2,145,450	854,550	HP運営費、HP改修費、広報活動費
	印刷費	700,000	565,474	134,526	各種会議資料の印刷費(複合機カウン ト料、外注印刷費)
	予備費	5,649,364	0	5,649,364	
	小 計	18,349,364	3,717,311	14,632,053	
	業務委託費	7,000,000	7,000,000	0	長崎都市経営戦略推進プロジェクトに係る企画、立案及び実施への支援業務並びに総合調整業務の委託人件費
	通信費	150,000	129,196	20,804	インターネット利用料、電話料、郵便料
	旅費	400,000	231,440	168,560	事務局出張費
	交通費	300,000	227,240	72,760	事務局交通費(タクシー、バス、電車)
事務費	雑費	200,000	63,517	136,483	事務用品等
	資金支援協議会経費	50,000	33,390	16,610	総会1回 (会議室使用料、送料等)
	小 計	8,100,000	7,684,783	415,217	
	合 計	26,449,364	11,402,094	15,047,270	
収支差額		0	6,448,864	▲ 6,448,864	